

はじめに

あっという間に4月が終わりました。いい意味でも悪い意味でも台湾の生活に慣れた1か月でした。日常化してきてそろそろ刺激がほしくなるころです。夏休みが近づくとつれて何か新しいことに挑戦してみようかしらと考えているところです。

先月のレポートの内容とデザインを母に褒めてもらいました。嬉しかったです。ただ、デザインはよく分からないので、凝ることはやめようと思います。褒めてもらった分何かいいことを書かなくてはとプレッシャーに感じてきました。卒論に関することをまとめてみるのもいいかなと思い、書いてみようと考えています。



かき氷がおいしい季節
になってきました

「台湾人」って誰？

私の最近の関心事は、台湾のジェンダー問題と台湾の民族事情です。台湾のジェンダーに関しては、留学前から関心がありました。しかし、台湾の民族事情は台湾に来て、台湾人と会話を通してもっと知りたいと思うようになりました。

台湾は九州程の小さな島ですが、多様な民族構成になっていることに驚きました。日本に住んでいると「日本人」という大きな括りの中で生きているという意識になります。しかし、台湾には「四大族群」という四つのエスニックグループが明確に分かれています。

- ① 閩南人（本省人） 客家：福建省南部出身で日本の植民地化以前に台湾に移住した人
- ② 客家（本省人）：福建省・広東省出身で日本の植民地化以前に台湾に移住した人
- ③ 外省人：国民党が来て以降に台湾に移住した人
- ④ 少数民族

台湾人と会話をしていても、両親がどこのエスニックグループの人か自分がどこのエスニックグループの人かという話題によくあります。エスニックグループに分かれていることに加え、言葉も多様であることに驚きました。教育では中国語が使われているので、基本的には中国語ができます。この他にも、台湾語や客家語、少数民族の言葉など様々な言葉が使われています。家族と話すときなどに使われているそうです。公共交通機関に乗っていると様々な言語で音声案内があるので面白いです。しかし、中国語以外の言葉は若い人は話せなくなってきているそうです。親は台湾語を話せるけど自分は話せないということもよくあるそうです。大学にも台湾語の授業があるので、次の学期に履修してみようと思っています。

このように多種多様なエスニックグループ・言語があることを知り、分かれていることでどのような問題が起きているのかもっと知りたいと思いました。また、少数民族についても興味を持ったので、少数民族の問題についても調べていきたいと思えます。

就活

台湾にいながら、日本で zoom を使って面接を受けています。ただ、静かに zoom ができる場所が部屋以外ないことが問題です。そのためルームメイトに拙い英語と中国語を駆使して、「〇時～〇時は部屋をあけてほしい」とお願いしています。ルームメイト達は嫌な顔をせずに応援してくれるので、ありがたいです。何度も出て行ってもらうのは申し訳ないので、そろそろ終わりになればいいなと思っています。

留学しながらの就活は、周りに一緒に頑張る人がいないため、孤独の戦いです。なので、留学前か留学後に就活をすることをおすすめします。



面接を頑張ったご褒美
のパイナップル
切り分けてあって 35元

休日

①北投（ Beitou ） / 陽明山

台北市北部にある北投に行きました。ここは日本統治時代から温泉地として人気の観光地です。昔から日本人が訪れることから、日本の温泉地のような町並みになっています。日本統治時代の銭湯や療養所のようなところが改装されて、博物館になっています。「熱海」と書いてある温泉旅館もありました。

そして2度目の陽明山に行きました。バスはやはりジェットコースターのようなようでした。この日は天気にも恵まれ、きれいな草木を見て癒されました。台北は浜松と比べて、都会で空気が汚いので、たまには自然にふれてリフレッシュが必要であると思いました。



②鶯歌陶器老街

新北市にある鶯歌陶器老街に行きました。MRT とに乗って、1 時間程で着きます。清朝の時代に福建省からやってきた人がいい土をみつけたことから、ここが陶器製造の地として栄えました。その後陶器製造が廃れ、現在では、昔の町並みを保存し茶器やお皿、お茶碗などを売る店が連なっています。北投市とは異なり、日本統治時代の面影をそれほど感じない雰囲気でした。本当は日本統治時代の建物がたくさんあったのかもしれないと考え、日本統治時代ブームの私としては、勉強不足で非常に悔しいです。そして、日本の陶器の人気の高いということに驚きました。日本のダイソーで売っていきそうなお皿がたくさんありつついほしくなりました。

